

安全対策への取組み

2019.8

地震三原則		激甚災害対策要覧(案)			銀嶺幼稚園	
時間空間別		保 育 中			在宅中	外室・休日中
係長	携帯品(*)	園内	園外	バス運行中		
安全主任● 事務局	ヘルメット 手袋 フラッシュランプ 携帯電話 トランシーバー (I)	●状況把握、警察消防との連携 ●被害状況、外傷者の把握 ◎救護活動の応援を求める ◎保護者の到着が遅く、その間医師の手当てを要する負傷児については、園長の判断で最善の方法を図る ●避難所移送を指揮する ●残留児、避難者対策を立てる ◎教職員招集日、保育再開時期を定め、連絡方法を図る	◎(同行)担任教諭を指示し安全な避難場所へ移す ●(在園)救護隊又は連絡員を出す	○(同行)バス運行者の意見を聞いて、安全な避難場所へ移す ○(在園)救護隊、連絡員を出す ○(在園)保護者に状況を伝え引き取り方について指示する ○所在、状況を速やかに入手し適切な処置を指示する	○可能な限り速やかに登園する ○教職員、警察消防署との連絡を取る ○(登園不可能な場合、時間)電話等で在園する者と連絡を取り指示する。	○所在連絡方法を主事・教頭に知らせておく ○主事以下の所在についてメモし、常に携帯する ○発生後直ちに登園に努める
事務局● 事務局◆	ヘルメット 手袋 ホイッスル ラジオ メガホン メモ用紙 サインペン ガムテープ トランシーバー (II)(III) 携帯電話 (1)(2) カメラ	●通園方法の確保、情報収集に努める ●食料、医薬品の確保を指示する ●水源、電源確保責任を指示する ◇救護隊の指揮、教務重要品の確保 ◇被災状況を記録する ◇園長代行 ◆ガス元栓遮断 ◆事務局重要品(印鑑他)の確保	●(同行)担任教諭を指示し、園児の安全を図る ●園外児とスタッフの所在、行動状況の把握に努める ◇(在園)救護隊を指揮する ◆状況により救護隊を派遣するなどの処置を園長に具申する	○行政の設けた避難地を運転手、添乗員は学習しておき、参照とするが、頼り過ぎないように心掛ける ○バス運行者、担任の意見を聞いて、避難方法を指示する ○園との連絡を図る ○状況により救護に当たり、応援を求める	○我が身と家族の安全を図る ○自宅周辺の状況により登園又は園長他との連絡を試みる 不可能なときは自宅待機する ○教職員の安否と状況を把握するよう努める	○所在、連絡方法を園長に知らせておく。園長他の住所をメモして常に携帯する ○発生後直ちに登園に努める
養護△ 安全▲	ヘルメット 手袋 救護品(セット) バール 消火器 ドライバー ハンマー レンチ 携帯電話(3)	△我が身の安全と動ける準備 ▲ガス元栓遮断確認 △救護活動(救護隊員始動) ▲消火活動 ▲水源燃料確保 △給食活動(リストは別につくる) ▲電源(2台)の照明 通信装置、水源への接続 ▲飲料水の確保と雑用水の配置	△担任教諭に協力する ▲園児の安全を第一に図り、帰園の方法を教諭に助言する	○安全な所に停車し、状況により最寄の安全な場所へ避難誘導し、救護に当たる ○安全なルートがあれば、園へ戻るよう誘導する ○移動困難と判断した場合は、車両を道路の片側に停車し、園と連絡をとりつつ戻る	○我が身と家族の安全を図る ○自宅周辺の状況により登園又は園長他との交信を試みる。不可能なときは自宅待機する(**) ○近隣の人々と協力して救護活動や情報収集に努める	○所在連絡方法を教職員に知らせておく ○自宅の様子を確かめてから登園又は連絡を取るよう努める
主任 及び 担任教諭	ヘルメット 園児名簿 金銭記録簿 緊急連絡網 ホイッスル フラッシュランプ はさみ 手袋 救急品(携帯用) 身分証明書 筆記用具 メモ用紙 携帯電話(個人)	○園児の安全を図る ○安全なところへ誘導落ち着かせる ○外傷者の発見、救護の求め ○保護者への引渡し記録する ○残留児の食事寝所を確保する ○広域避難所へ引き渡した園児氏名、住所を知らせ、担当者の確認印を受ける ○十分身支度の上、水や食料などを準備して帰宅する	○状況により帰園又は避難する ○園児の安全を図り、負傷者の救護、応援を求める ○二次被災しないようより安全な場所へ移る	○バス運行者の指示により園児の安全を第一に図り、より安全な場所へ避難する ○安全なルートをたどり、園へ戻るよう引率する(バス添乗員) ○通常の運行中に避難場所、通路の想定をしておく(運行担当者)	○周辺の状況、ラジオ等の報道により登園又は幼稚園、教頭、園長等との交信を試みる 不可能な場合は自宅待機する ○園児の安否を把握する ○被災、避難した場合は、一般通信手段の回復を待つ様子幼稚園に知らせよう試みる ○登園の指示を待ち、十分準備して登園する	○所在、連絡方法を家人又は園に知らせておく ○自宅の様子を確かめてから登園又は他の教職員との連絡に努める ○テレビ、ラジオ等により情報を把握する(幼稚園関係が流れる場合がある)
保護者	ヘルメット 又は 防災頭巾 携帯電話	○我が子及び委託されている子を引き取り、帰宅する ○より安全な避難場所を知り、引き取りに行く ○帰宅前に知り得た情報を園に伝える ○可能と思われる人は、救護活動に参加する ○負傷している児については、応援手当てを施し、保護者に引渡します。到着が遅く、その間に医師の手当てを要する場合は、他へ移送する場合があります	○帰園不能と判断された場合は避難先へ園からの情報を基に我が子及び依頼された子を引き取りに行く ○園児が園に戻るのを待つ、状況により引き取りに行く	○幼稚園と連絡をとり、情報を入力する ○発生時刻と状況に応じ、運行中であればその方向へ向かう ○その他の場合は、最寄の避難所、又は幼稚園へ引き取りに向かう ○乗車以前であれば幼稚園で引き取り帰宅する	○家族の安全を第一に考え、状況により避難、家族や近隣の人々の救護活動に参加する ○被災状況等を幼稚園又は担任教諭に知らせよう努める ○幼稚園より指示ある迄待機する(**) ○被災、避難した場合は、一般通信手段の回復を待つ状況を幼稚園に知らせよう努める	○家人に外出先を知らせておく ○被災状況により、帰宅後園の様子を知らせる ○外出先で移動不可能な場合は、自宅、園、など連絡のとれるところへその様子を知らせる
在園児	防災頭巾 靴	○安全な所へ身を隠す(習慣化する) ○教師の指示で避難する(防災頭巾を身に付ける・靴を必ず履く) ○保護者の到着を待つ帰宅する ○園長の指示で避難所へ移る	○担任教諭の指示で安全なところに避難する	○バス運行者の指示でバス添乗員が引率し、安全なところに避難する(送迎中)	○親又は代行者の責任下におかれ、身の安全を第一に図られる ○安全を確認して親と共に登園する	○帰宅して親又は代行者の保護下におかれる

(*)通常より準備し、練習時には実際に使用すること (***)状況により一週間以上要する場合がある